

情報通信審議会 情報通信技術分科会（第147回）議事概要

1 日時 令和2年1月21日（火）14：00～15：15

2 場所 総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

西尾 章治郎（分科会長）、相田 仁（分科会長代理）、安藤 真、  
石戸 奈々子（※）、伊丹 誠、江村 克己、上條 由紀子、國領 二郎、  
三瓶 政一、知野 恵子、根本 香絵、平野 愛弓、増田 悦子、  
村山 優子（以上14名）

※石戸 奈々子委員はWeb 会議システムにより出席

（2）専門委員（敬称略）

山中 幸雄（以上1名）

（3）総務省

（国際戦略局）

巻口 英司（国際戦略局長）、松井 俊弘（技術政策課長）

（総合通信基盤局）

田原 康生（電波部長）、荻原 直彦（移動通信課長）、  
白石 昌義（電波環境課長）、関口 裕（電波環境課電波利用環境専門官）

（4）事務局

後潟 浩一郎（情報流通行政局総務課総合通信管理室長）

## 4 議 題

### (1) 答申事項

- ① 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「920MHz帯小電力無線システムの高度化に係る技術的条件」について

【平成14年9月30日付け諮問第2009号】

#### 【内容】

本件は、920MHz帯のアクティブ系小電力無線システムについて、諸外国との調和を図るため、キャリアセンスの機能の代わりに、周波数ホッピング（FH：Frequency Hopping）やローデューティーサイクル（LDC：Low Duty Cycle）の機能によって同一システム間の周波数共用を図る方式を導入するための技術的条件について取りまとめたもの。

審議の結果、陸上無線通信委員会から報告があったとおり、答申案を了承し、答申することとした。

### (2) 諮問事項

- ① 基地局等から発射される電波の強度等の測定方法及び算出方法

【令和2年1月21日付け諮問第2045号】

#### 【内容】

本件は、地中埋設型基地局などの新たな無線システムへの対応や最新の国際動向を踏まえ、基地局等に適用される電波防護指針への適合性評価方法の在り方について、諮問を受けたもの。

審議の結果、本件は、電波利用環境委員会において、調査検討を進めることとした。

### (3) 報告事項

- ① CISPR上海会議の審議結果について

#### 【内容】

本件は、昨年10月14日から25日までの間、中国の上海において開催されました国際無線障害特別委員会（CISPR）会議の結果について報告があったもの。

- ② 令和2年度総務省科学技術関係予算（案）について

#### 【内容】

本件は、令和2年度において総務省が取り組む主な科学技術関係施策について報告があったもの。

本会議にて配付された資料を御覧になりたい方は、総務省HPにおいて公開しておりますので御覧下さい。

また、総務省において、閲覧に供し及び貸し出しておりますので、以下まで御連絡をお願いいたします。

担 当：総務省 情報通信審議会事務局 崎山、新谷

電 話：03-5253-5432

F A X：03-5253-6063

メール johotsushin-shingikai/●/soumu.go.jp

迷惑メール防止対策をしているため、/●/を@に置き換えてください。